

特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス

令和6年度総合事業報告書

令和7年6月（2025年6月）

はじめに

一昨年度、昨年度と、全国の人口3～5万人のまちの中で、恵那市は一番住みたい田舎に選ばれた。

宝島社が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』が、毎年人口規模別の「一番住みたい田舎」ランキングを発表している。昨年度で13回目を迎えた「一番住みたい田舎」ランキングの結果をまずはご覧いただきたい。

2年連続の総合部門「日本一」は画期的なことだが、中でも「子育て世代部門」が2年連続日本一で、この点数によって総合一位になったと言っても過言ではない。

しかしながら昨年度の恵那市の出生数はあまりにも少なく悲しい限りだった。これは若年層の転出が止まらないことが原因かもしれない。下図に示したチャートはそのことを物語っている。

このチャートは、令和6年3月に行った若者に対する意識調査の結果である。中学2年生、高校2年生を対象としたこの調査結果を見る限り、多くの若者は、将来恵那市で働きたくない、住みたくない、という極めてショッキングなデータである。データをよく見ると、中2よりも高2の方がその傾向が強く、進路決定が迫った状況で真剣に考えた結果がこれだとすると、早急な打開策を講じる必要性を感じざるを得ない。また、将来恵那で働きたくない住みたくない理由は、決して「不便だから」ではない。若者にとって、恵那は将来性の乏しい、夢のない地域なのかもしれない。

せっかく良好な子育て環境を整備しても、成長した若者に見捨てられるとなれば、一体どうしたらいいのか。

もちろんいわゆる少子化は恵那に限ったことではなく全国的な傾向である。また、昨年度人口が増えた都道府県は首都圏の東京、埼玉の2都県に限られている。今や、都会を目指す田舎の若者 VS 田舎を目指す都会の若者という奇妙な対立構造が生まれているとも言える。もちろん都会の若者全てが田舎嗜好というわけではなく、若者の20～30%が田舎嗜好と言われているが、そもそも都会に人口が集中しているため、その数は膨大である。

転換点を迎える時代の中で、田舎に住む我々がまずやらねばならないのは、多様な価値を認めることだろう。都会から来る若者や外国人等、これまでの常識では理解し辛い人たちが田舎を目指している。であれば、その人たちの価値を受け入れる素地がまずは必要であろう。

特定非営利活動法人みんなで子育てドロップス 理事長 駒宮博男

【 「一番住みたい田舎」ランキング（『田舎暮らしの本』（宝島社））より 】

★人口3万人以上5万人未満の市（2023年度）

総合部門	若者世代・単身者部門	子育て世代部門	シニア世代部門
第1位 岐阜県恵那市	第1位 島根県雲南市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 岐阜県恵那市
第2位 大分県臼杵市	第2位 富山県氷見市	第2位 長崎県五島市	第2位 大分県臼杵市
第3位 島根県雲南市	第3位 熊本県菊池市	第3位 島根県雲南市	第3位 鳥取県倉吉市

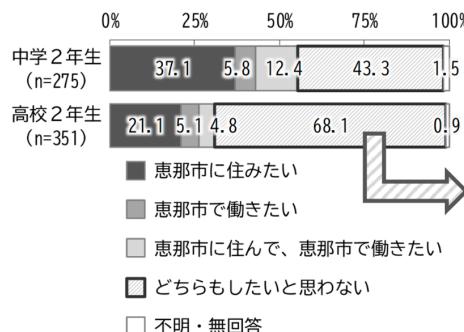
★人口3万人以上5万人未満のまち

（2024年度）

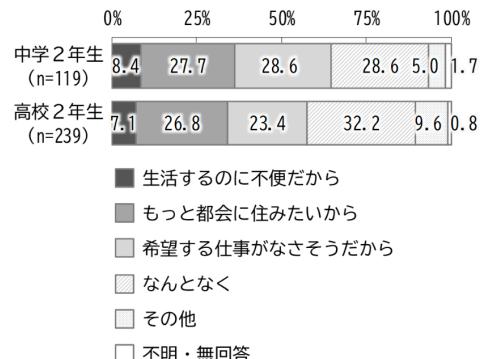
総合部門	若者世代・単身者部門	子育て世代部門	シニア世代部門
第1位 岐阜県恵那市	第1位 島根県雲南市	第1位 岐阜県恵那市	第1位 鳥取県倉吉市
第2位 島根県雲南市	第2位 山口県萩市	第2位 長崎県五島市	第2位 大分県臼杵市
第3位 山口県萩市	第3位 長崎県五島市	第3位 熊本県菊池市	第3位 長崎県五島市

【 令和6年3月 恵那市若者意識調査から抜粋 】

■将来、恵那市に住みたい、恵那市で働きたいと思うか (単数回答)



■将来、恵那市に住みたい、恵那市で働きたいと思わない一番近い理由 (単数回答)



「はじめに」の付録（高齢世帯にも広がる経済格差）

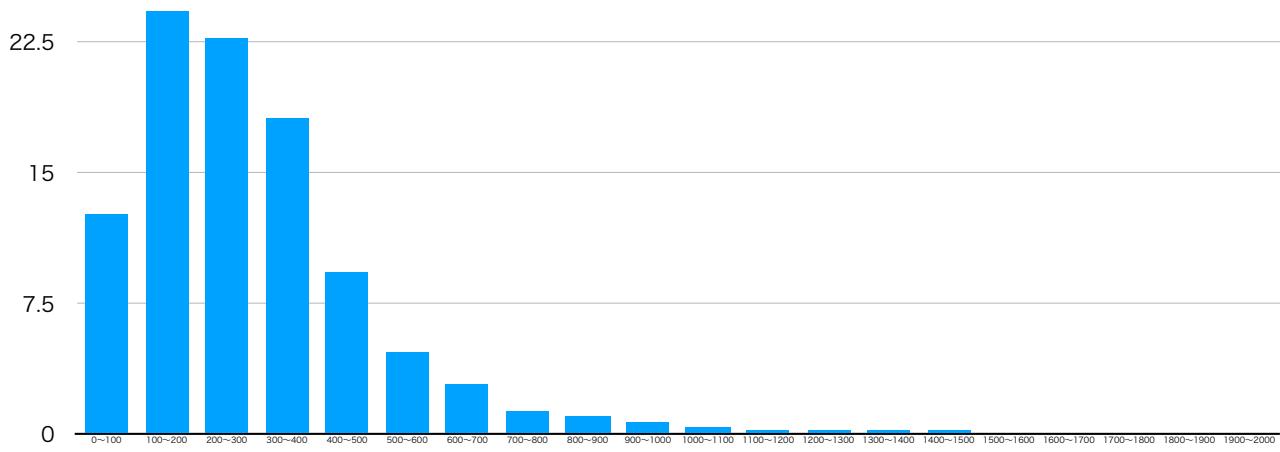
私ごとだが、今年度より三郷町野井区の区長を拝命することとなった。ご多聞に洩れず、野井区も他の地域と同様、高齢化率は40%を超えてしまった。子育て世代の格差が、両親のいる世帯とひとり親世帯で広がっていることは昨年の報告書で述べた。今回行った分析結果によれば、主にひとり親世帯を支援する”子育てフードパンツリー”は、昨年度年間供給量は10トンを超えた。現在の異常な物価高騰は、経済弱者に重圧を加えている。

この状況は決して子育て世帯だけのものではなく、高齢者にも広がっている。ここでお見せするのは、高齢者の格差を示すものである。一般に世帯の経済状況は、年収（フロー）と貯蓄（ストック）で示すことができる。

図1は、年収の分布を示している。年収100万円から200万円が多いようだが、夫婦で主に国民年金の場合がこのカテゴリーに入るではないだろうか。世帯収入が年収100万円以下の世帯は12.7%存在し、現今の物価高騰下、生活は厳しいに違いない。世帯収入が年間200万円以下の世帯は37%にのぼる。したがって、約4割の世帯が、「裕福」とは言えないのではないだろうか。

図1 【内閣府のデータを年収100万円刻みで整理したもの（2019年のデータ）】

30



出典：https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/html/zenbun/s1_2_1.html

つづいて、高齢世帯の金融資産（貯蓄）を見てみよう。メディアは、老後を豊かに過ごすためには、2,000万円以上の金融資産が必要と無責任なことを言っているが、果たしてこのようは世帯はどれだけあるのか、データをご覧いただきたい。

図2は、大和総研が総務省のデータを用いて作ったものである。これを見ると、金融資産が2,000万円前後の世帯が多いように見える。しかし、よく見ると、横軸がバラバラ（低い方は25万円刻み、高い方は数千万円刻み）で、実態を表しているとは言い難い。大和総研の想定顧客がこの範囲の世帯なのかもしれないが、この手のグラフの多くはこのように操作されているので、要注意である。

そこで、このグラフの横軸を、均等に300万円刻みにしたのが、図3である。

大和総研のグラフに比べ凸凹がなく、ある意味驚くほど綺麗なものとなった。

ざっくり言えば、世帯金融資産が300万円以下の世帯が26.2%を占める一方、世帯金融資産2,000万円以上の世帯はほぼ30%である。これは明らかに格差であり、約1/3の世帯は老後を安心して暮らせるが、1/4以上の世帯の老後は厳しいと言わざるを得ない。

高齢者の経済的困窮の実態が気になり、さらに世帯金融資産300万円以下の世帯だけを分析したのが、図4である。

なんと、世帯金融資産が25万円以下の世帯が圧倒的にメジャーであることがわかる。

私の住む三郷町野井は、人口約1,000人、世帯数は350ほどである。この数字は統計的に考えて、全国統計とほぼ同様な状況が野井区にも当てはまると言えるのが妥当であろう。地域の高齢者率は40%を超えており、単純計算すれば140世帯ほどが高齢世帯だろうか。そしてその1割強がほぼ金融資産ほぼ0の世帯で、しかも年収が100万円以下ということになる。

振り返れば30年ほど前、今や後期高齢者である団塊の世代の方々は45歳～50歳であった。この世代が人口のメジャーを占め、急速な高齢化を迎えているわけだが、その内実はといえば、驚くほどの格差社会なのである。

平等感があふれていた高度成長期の「成長感覚」を持ち続ける裕福な高齢者層が地域社会の政策決定層を形成しているようにも見える。この世代が若者のマインドを理解するとともに、まずは現状がどのような格差社会なのかを正確に理解することが必要であろう。

子育て世代から高齢者層まで、弱者が自ら声を上げることのない社会となった今、誰かが弱者の声を代弁しなければならない。

当法人はこれまで「子育て世代」への支援を中心に活動を続けてきた。初期の段階では、今ほど経済格差への対処は考えてこなかった。しかし、「子育てフードパンツリー」を始めた数年前より、世の中の格差の拡大への対処を余儀なくされてきた。昨今の物価高騰は弱者を直撃しているが、その弱者の中に、ひとり親世帯だけでなく、多くの高齢者が含まれていることは隠しようのない事実である。

今後この問題に対処すべきかどうか、私が区長を務める野井区では「敬老会」を含めた高齢者施策のあり方を模索中である。

図2 【 高齢世帯の金融資産分布（総務省2019年全国家構造調査より大和総研作成）】

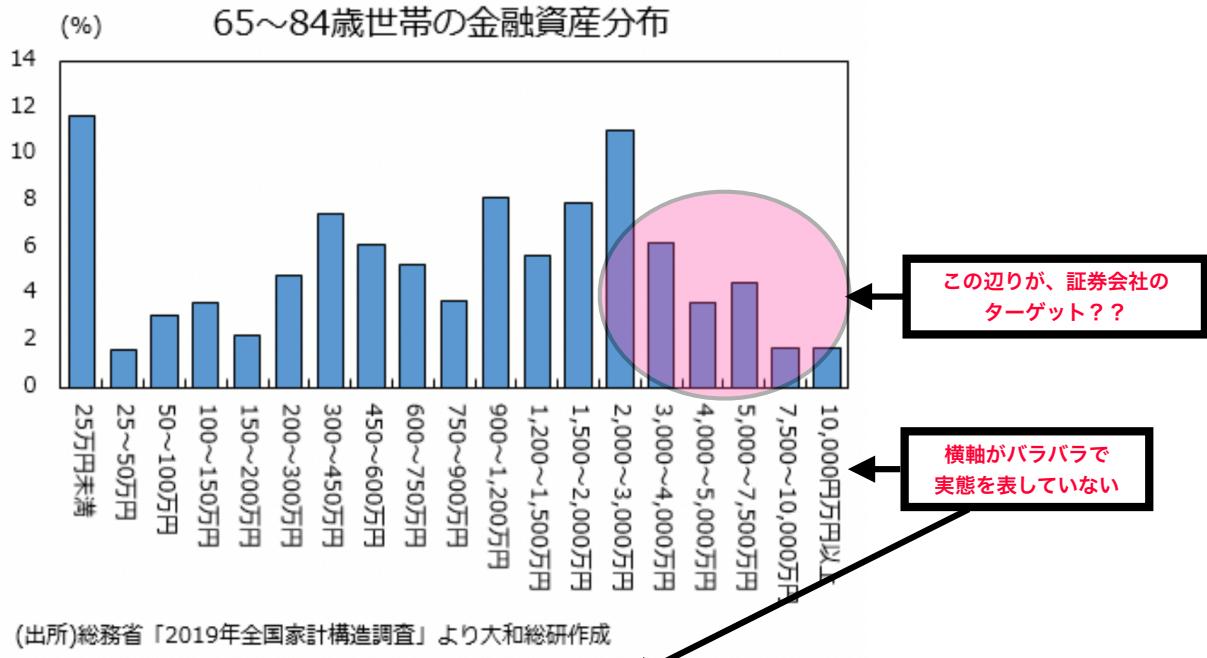


図3 【 高齢者世帯金融資産（%）（総務省データを駒宮改変 300万円毎）】

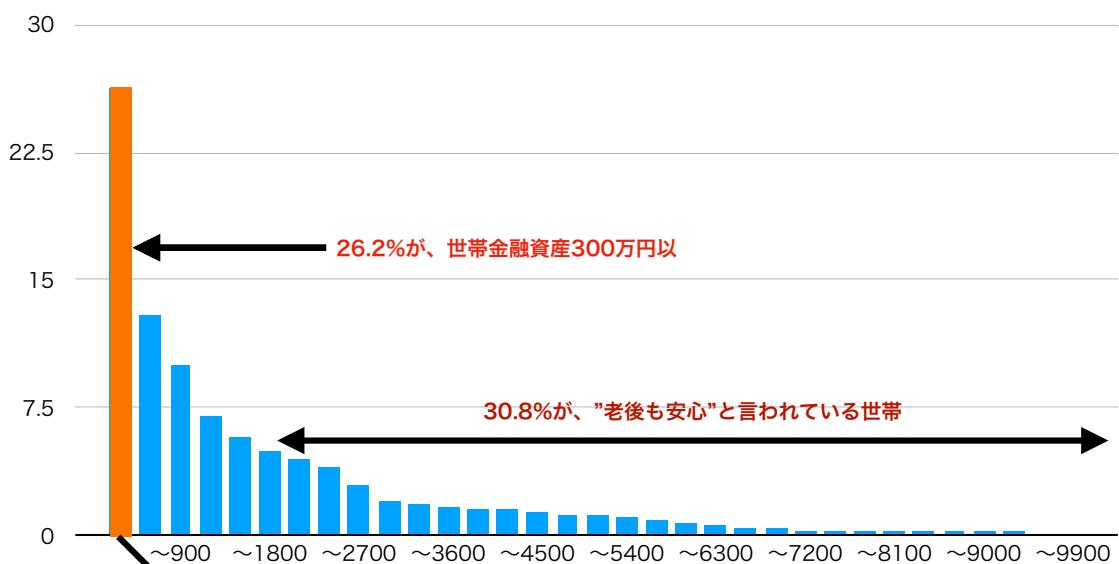
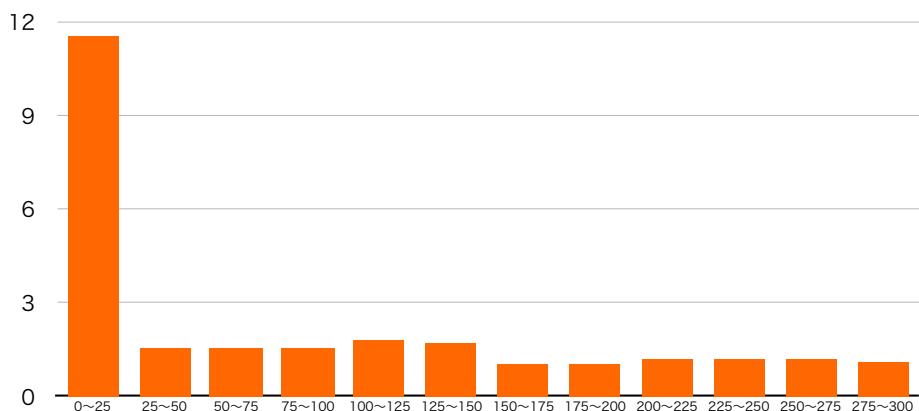


図4 【 世帯資産0～300万円だけをを25万円ごとに分割 】



目次

	page
1 恵那市ファミリーサポートセンター事業	5
2 子育てフードパントリー事業	8
3 相談業務・学習支援事業	11
付) フードパントリーアンケート調査結果	14

1 恵那市ファミリーサポートセンター事業

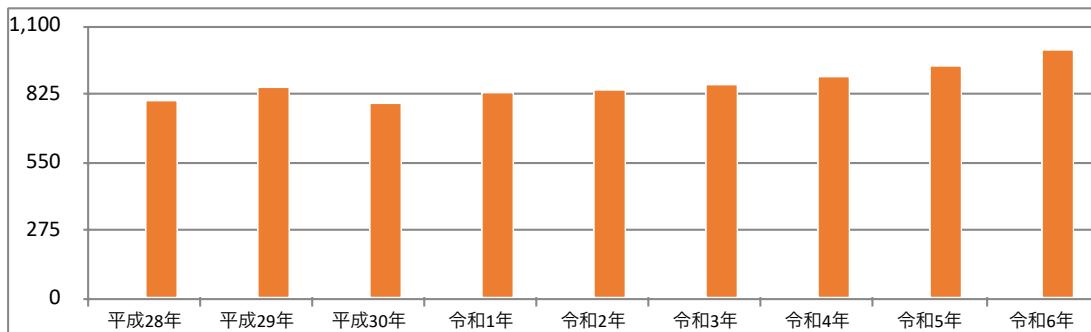
●ファミリーサポートセンター開設日数：年間 243日

- 平日開設日数：243日
- (早朝と夜間、土日祝日：携帯電話に転送)
- (元気プラザ出張説明会：第1土曜日、年12回)
- (休日開設 : 第3日曜(1時間)、年12回)

●活動内容と会員数等

- 会員数1,002名、活動件数614件、延べ活動時間数1,514時間
(R5実績：活動件数511件、活動時間数988.5時間)
- 事前打ち合わせ76件(うち11件が土日祝日の打合せ)

会員数推移 (H28～R6)



●活動保険への加入

「地域子育て支援補償保険」・「研修・会合傷害保険」・「お見舞金制度」に加入

●付随する事業

- ミニ交流会
6/27 『恵南deおしゃべり交流会』
依頼会員を中心に援助会員も参加、中野方からの参加者もあった。
- 11/14 『地域子育てパートナーとして』
研修受講者と援助会員と一緒にファミサポの活動で楽しかったことや地子育てパートナーとして保護者の子育てに寄り添っていくことを話した。
- 3/26 『補助金制度説明会&おしゃべり交流会』援助会員
補助金がほぼ最低賃金と同じになった。若い援助会員が増えてくれることを期待。
- 県ファミリーサポートセンター従事者意見交流会出席
11/1 各センターの取り組みや課題などを共有した。
利用料金を上げて援助会員の確保に努める意向のセンターが多かった。
- 「えなっ子育てサポーター研修」を実施
11/7, 14, 20, 22の4日間、計24時間
参加者34名(既会員のスキルアップが多かった)
全講座を修了された受講者 3名
新規に援助会員になった方 4名
救急救命講習修了者(活動を行える方) 11名
- 会員登録
基本はお子さんと一緒にセンター事務所に来ていただくようお願いしている。
車の運転ができない方や遠方の方、平日来られない方など、個別に登録希望者のニーズに沿うよう、こちらから出向いて対応した(アウトリーチ5件)。出張説明会の時も希望があればその場で登録を受け付けた。

●広報活動

- ホームページに利用方法・会員サポート・研修案内などを掲載。
- "ファミサポ通信"を発行し、会員への活動の計画と報告を行う。
- 広報紙掲載
　　広報えな・シルバー人材センターお知らせ
- 子育て支援関係の会議などに出席し、ファミリーサポートセンターの周知を図る。
(子ども子育て会議・民生委員会など)
- 恵那市のキャラクターエーナちゃんを入れたファミサポステッカーを配布
- 出張説明会
 - ・土曜日の元気プラザ説明会や児童センターでの説明会を実施し、ファミリーサポートセンター事業への理解と登録・利用を促した。
 - ・毎月第1土曜日 こども元気プラザ
 - ・5月 大井児童センターコロコロ入会式 2回
 - ・毎月の4ヶ月健診
 - ・たまご学級
 - ・毎月第3日曜にセンターでの休日登録も実施した。

●ファミサポスタッフ会議

毎月1～3回　年間24回実施。

●ファミサポ連絡会議出席（県内の受託運営団体などで構成）

ZOOMでの会議参加（2ヶ月に1回　年間6回開催。）

●その他の連携事業

当団体が行っている「子育てフードパントリー」や「学習支援」、恵那市から受託している「地域こどもの生活支援強化事業」などと連携することにより、さまざまな事情のご家庭に寄り添った活動を行えた。

- ・子育て支援課や社会福祉協議会など市民の窓口になっている機関と連携
- ・お子さんや保護者が利用している事業所や学校と連携

●援助活動のまとめ

- 今年も11月頃からインフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行しキャンセルも多かった。手足口病やノロウイルスでのキャンセルも多かった。
 - 教育支援センターはなのきや民間のフリースクールを利用する小学生の送迎が多かった。
 - 岩村福祉センターや各コミセン（串原・山岡・中野方）の協力もあり僻地の活動を快適に行えた。
 - 元気プラザや児童センターなど預かり場所がいい雰囲気で、援助会員もお子さんもリラックスしていた。また、そんな活動の様子をみて安心して新規登録する方も多い。
 - 第3子のご利用も多く、特に兄弟の園行事など活動が重なると援助会員を確保するのに苦労した。非番のスタッフが会員としてサポートすることも多かった。
 - 第三子以降の48時間分利用料減免（件数、利用時間の推移）（第3子比率%）

2022年度	利用27名	利用件数	181件	利用時間	387時間	(36.0%)
2023年度	利用29名	利用件数	192件	利用時間	369時間	(37.3%)
2024年度	利用29名	利用件数	265件	利用時間	656時間	(43.3%)
- 仕事のためや兄弟の習い事のための利用がほとんどであり、上限の48時間を使い切っても利用した方の利用事由も同様であった。
(48時間すべてを利用した人数：7名)

●会員数、活動件数、第3子以降の利用、ひとり親減免件数等のまとめ

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会員数	805.0	856.0	795.0	838.0	848.0	869.0	901.0	945.0	1,002.0
合計活動件数	1,237.0	805.0	797.0	405.0	294.0	344.0	488.0	510.0	614.0
合計利用時間数	1,613.0	1,555.0	1,936.0	1,046.5	802.0	854.0	1,076.0	986.5	1,514.0
第3子以降減免利用児童数							27	29	29
第3子以降減免分件数							181	192	265
第3子以降減免分時間数							387	369	656
全利用時間に占める第3子の割合							36.0%	37.4%	43.3%
ひとり親家庭半額減免利用児童数									2
ひとり親減免分件数									48
ひとり親減免分時間数									46

注) 第3子以降の減免はR4年度より実施

●課題対応策等

- 援助会員不足。実働の援助会員は人数が限られており、特に夕方や土日祝日に活動できる方が少ない。車での送迎ができる方も少ない。
- 営業時間内に連絡を取りづらい会員のための連絡手段が必要。
→公式LINEを新年度より導入予定。
- 事故防止・防災・緊急時の対応マニュアルなどを整える。
→安全のためのスタッフの勉強会を行っていく。
- 利用料金が低すぎて会員や支援者から心配の声が多数あがっている。
→新年度より援助会員補助金が600円になることが決まり援助会員からも援助会員の増加につながらないか期待の声がある。
- ここ数年、不登校、知的障害、学習障害等子どもが抱える問題に加え、離婚、精神不安定、生活困窮等親が抱える問題が、ファミリーサポートの現場でも目立つようになった。
→昨年同様、市役所・市社協等と、より有効な連携と役割分担が必要と考えられる。

2 子育てフードパントリー事業

- フードパントリー会議 : 毎月1回、年12回実施

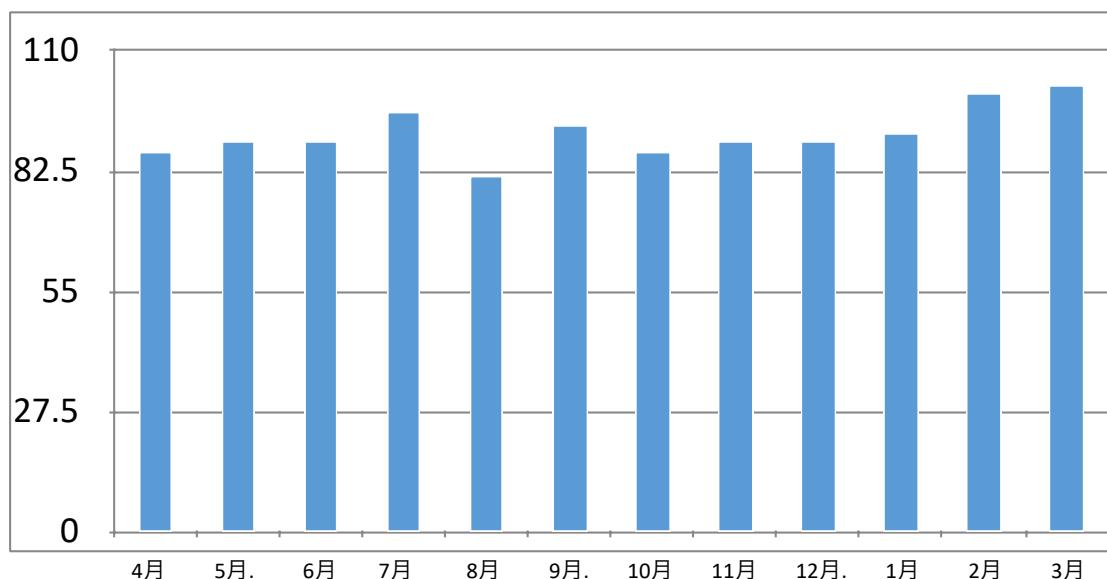
- ラインの活用

有料の公式ラインを開始することにより、これまでと比べ格段の情報量を提供することができるようになった。
公式ラインには、子ども食堂関係者、県・市・社協等の行政担当者も参加しており、行政情報の拡散にも役立っている。

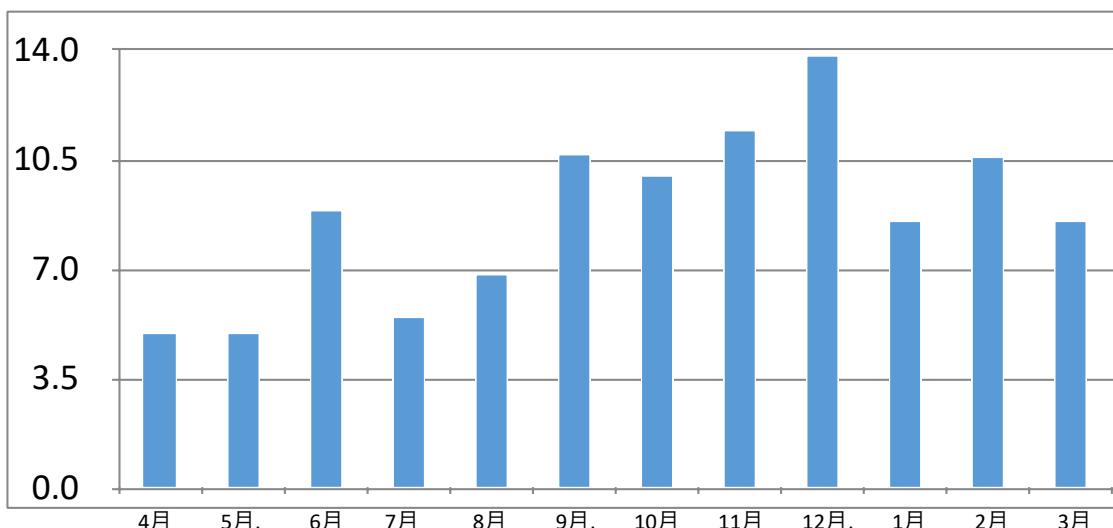
- 農業体験等

長期目標として、少しでも利用者自身が食料貢献ができるよう、近隣の農家に農地を借り、利用者と野菜作りをしている。
中津川市下野の農業法人の指導で、さつまいも、大根等の収穫を行い、収穫物の提供を行っている。

- 参加世帯数

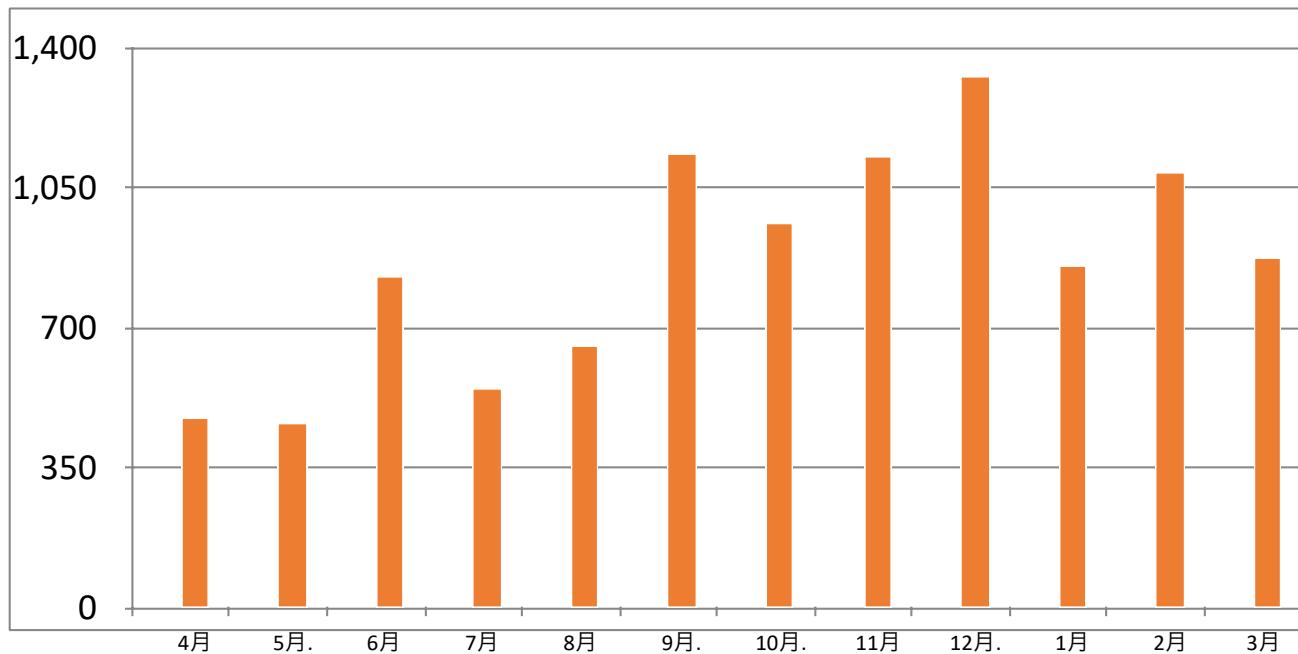


- 一世帯当たりの配布量 (kg)



毎月の食料提供量には、残念ではあるが大きな開きがある。この開きは、隔月の食料寄付の量のばらつきが主な原因である。基礎的なものとして、お米は必ず提供できるよう考慮している。これはアンケート調査からも分かるが、お米の提供を多くの利用者が望んでいるためである。

●月毎の配布総重量 (kg)



●寄付食品 (回数、総重量 (kg))

2024/4~2025/3

寄付食品一覧	回数	計 (kg)
個人	34	946.7
JAひがしみの女性部	5	167.6
(社) フローレンス	3	161.7
西親会	1	0.5
佐々良木生産森林組合	1	1.2
JASIA	1	30.0
JA 恵那支部	1	38.1
ドロップス	2	81.9
王将フードサービス	3	106.2
吉野家	12	468.0
ファミリーマート	7	46.6
市内ドラッグストア	12	139.2
市内スーパー・マーケット	9	101.8
コープ岐阜 恵那中津支所	11	343.8
銀の森	3	227.5
ゴーバル	4	32.0
ジバスクラム	2	12.6
ヤマト運輸	1	25.7
トモファーム	8	574.9
カネコノウサン	1	25.0
岐阜県社会福祉協議会	12	159.1
中津川市社会福祉協議会	1	79.4
フードバンク愛知	4	370.4
恵那市社会福祉協議会	11	382.5
日本非常食推進機構	1	11.2
農林水産省	4	2,400.0
恵那市役所	5	377.9
合計		7,311.5

年間7トン以上もの食料を、個人・企業・各種団体からご寄付頂いている。
ご寄付を頂いた方々、本当に有難うございました。

● 食品以外のご寄付頂いた日用品等 (kg)

月日	寄付者（個人・団体）	品名	重量	備考
4/18	市内量販店	マスク	2.3	22箱
5/1	岐阜県社会福祉協議会	カプセルトイ	6.0	100個
5/30	匿名	タオルなど	0.5	8種類
6/12	市内量販店	子ども用マスク	0.1	7枚入り4袋
6/14	岐阜県社会福祉協議会	トイレットペーパー	1.4	4個
		ティッシュペーパー	1.1	5箱
		アルコール除菌ウエット	1.8	10袋
		ハンドソープ	0.2	詰め替え1袋
		マスク	0.2	10枚入り5袋
7/11	岐阜県社会福祉協議会	鉛筆・消しゴム	0.3	24本、12個
		団扇		
8/14	岐阜県社会福祉協議会	さわやかマスク	7.0	240袋
		プラスチック定規	0.1	10個
9/15	ファミリーマート	洗剤	1.6	3個
2/7/24	フードバンク愛知	タンブラー		
2/14	岐阜県社会福祉協議会	鉛筆		
2/19	恵那市社協大井支部	市指定可燃ごみ袋		80袋
3/13	フードバンク愛知	トイレットペーパー	20.7	8ロール×15
		ジッパーバック	2.8	30袋入り×15
		フライパンホイル	1.3	15本
		ティッシュペーパー	9.9	5個入り×15
		台所スポンジ	0.4	3個入り×15
		食品保存ラップ	2.7	15本
		食器用洗剤	4.2	15個
		キッチンポリ袋M	3.8	150枚入り×15
合計			68.2	

● ご寄付頂いた方々

(円)

6/9	藤公雄	寄付金	50,000
10/10	(株) 藤石材	寄付金	50,000
10/20	匿名	寄付金	5,000
1/10	恵那市社協大井支部	寄付金	30,000
2/28	岐阜県社会福祉協議会	JCBギフト券	10,000
合計			145,000

● 助成金

(円)

むすびえ	150,000
むすびえ	1,000,000
子ども宅食	566,000
POPOLO	498,000
合計	2,214,000

食料以外にも、様々な日用品等を、個人・企業・各種団体からご寄付頂いている。

また、寄付金としても年間145,000円頂戴しており、主に保存が困難な卵等の食料調達に使わせていただいている。
ご寄付を頂いた方々、本当に有難うございました。

3 相談業務・学習支援事業

●相談者の年齢

年代	市内	市街
20代	2	
30代	13	6
40代	13	3
50代	1	
60代	1	
計	30	9

●相談件数

市内	市街
160	46

●相談方法の各件数（電話、訪問、来所）

	市内	市街
電話	74	21
訪問	56	13
来所	30	12
計	160	46

●主な相談内容

・経済的困窮

食料、エネルギー等の物価高騰は弱者を直撃している。食料に関しては、フードバンクに繋いでいる。

・子供の不登校や障害等

障害児や、骨折によりと保有額が困難な児童の登校援助には、ファミリーサポートセンターへ繋いでいる。

・本人や家族の健康不安

出産、経済的困窮、就労困難、職場での問題等様々な原因で、本人や家族の健康が子どもに影響を与えるケースが見られる。このような場合、できる限り家族を丸ごと支援する「重層的・包括的」支援を心掛けている。

●学習支援事業

1) 事業内容、開催日時

毎週火曜日（17:30～19:30）、当法人の事務所で各々の課題を学習したり、おやつを作ったりする。また、祝日や夏休みに体験活動を行う。

延開催日数は、学習支援41日、体験活動5日。

体験学習：坂折棚田での田植え、稻刈り体験

：図書館夏のイベント（「怖い話」）

：多治見モザイクタイルミュージアム（電車・バス利用）

：岩村まち歩き（電車・バス利用、車椅子ケア体験）

2) 周知方法

チラシ（4ヶ国語で紹介）を公共施設などに置いてもらう（恵那市子育て支援課、市民課など）。

3) 対象者

小学校以上の子ども

4) 利用実人数（学年別）、延人数（学年別）

2024年度学習支援

学年	利用人数	延人数
小3	1	35
小4	3	97
小4	1	23
中3	1	21
高1	1	4
計	7	180

昨年同様、勉強を教えるという単なる学習支援ではなく、子どもの居場所の提供や、より多くの大人が子どもを支援する枠組みを目的とした学習支援を行なった。

今年度の学習支援には外国籍の子どもが何人かいた。日本に来て間もない子供達がおり、コミュニケーションが難しかった。初期には英語でのコミュニケーション、その後自動翻訳ソフトの使用法を教えるなどして乗り切ることができた。

また、昨年同様学習支援には「手作りおやつ」を毎回開催し、子どもたちと一緒に様々なおやつ作りに挑戦した。

●個別支援相談内容		形式	連携先	期間
nd	主たる相談・支援内容			
1	父子家庭。父帰宅遅く、学校帰宅後の子の1人の時間長く心配。(学習支援紹介)	面談(市職員)、ケース会議参加	市(子育て支援課)、子相、児童養護施設	
2	中津川から恵那に転居予定。生活困窮。(パントリー紹介のみ)	電話		2024/4 1回のみ
3	父母外国籍。乳児1人。給与低く生活困窮。言葉の壁あり、孤立育児。(パントリー、子ども宅食、生活相談)	面談、訪問、LINE	市(子育て支援課)、国際交流、児童センター	2024/4～継続
4	子ども6人の母子世帯。生保受給中。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/4～継続
5	母親世帯(母子)、娘世帯(母子)同じアパートの別室に居住。ともに生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/4～継続
6	春日井より転入。パントリー参加の相談。(ファミサポ)	面談		
7	母子家庭。母子ともに知的障害。子の登校支援。生活困窮。(ファミサポ、パントリー、子ども宅食)	面談、電話、訪問	市(子育て支援課)、B型作業所世話人、ファミサポ援助会員、小学校	2024/3～継続
8	母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/4～継続
9	母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/4～継続
10	母子家庭。同じ母子家庭の友人と、ファミサポ登録をして子どもを預け合いたい。(ファミサポ、パントリー)	面談、電話、LINE		
11	母子家庭。同じ母子家庭の友人と、ファミサポ登録をして子どもを預け合いたい。(ファミサポ、パントリー)	面談、電話、LINE		
12	母子家庭。子ども4人。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/5～継続
13	母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/5～継続
14	里親に預けられている高校生。学力向上のため学習支援を希望。(学習支援)	面談、電話	市(子育て支援課)、里父母	
15	種々相談(パントリー参加家庭)	面談		
16	夫、知的障害。妻も若年で知的能力に問題あり。妊娠中だが、生活困窮しており心配な家庭。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE、ケース検討	市(子育て支援課)、社協	2024/5～継続
17	父働きず、生活困窮。子ども3人。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE	市(子育て支援課)	2024/5～継続
18	父子家庭。子ども4人。長女は病気の予後悪く、日常生活に困難あり。小中学生の子ども2人が不登校。(パントリー、傾聴)	面談、電話、LINE		
19	5月～来日。父母外国籍。小4双子の子ども。夏休み中の子どもの居場所として学習支援希望。(学習支援、ファミサポ)	面談、電話	市(子育て支援課)、国際交流	2024/6～継続
20	父仕事が続かず、生活困窮。子ども3人。(父母子ども2人は中津川市民、長女のみ恵那市)度々生活物資の要請あり。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、電話、LINE	恵那市(子育て支援課)、中津川市(子ども家庭課)	
21	祖父母が中2孫を養育中。祖母の病気により生活困窮。(パントリー)	面談、訪問、LINE	市(子育て支援課)	2024/7～継続
22	母子家庭。祖父母同居だが介護が必要。子どもも手がかかる。母働き始めたが生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/7～継続
23	母子家庭。子ども3人。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/7～継続
24	第2子妊娠中。母ぎりぎりまで働くが、生活困窮。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE		
25	多治見より母子で転入。子ども6人。(2人障害あり)生活困窮。小中学校の子ども3人不登校。教育支援室への登下校支援希望。(パントリー、ファミサポ、バス下校付き添い)	面談、電話、LINE	市(子育て支援課)、社協、教育支援室	2024/8～継続
26	外国籍の世帯。来年4月から小1になる子どもの登校支援の相談。(ファミサポ説明)	電話(市職員)	市(子育て支援課)	2024/8 1回の
27	母子家庭。子ども2人。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/9～継続
28	父母働きず生活困窮。子ども3人。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE	市(子育て支援課)	2024/10～継続
29	生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/10～継続
30	生活困窮。子ども3人。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE		
31	母子家庭。母不安定。子は不登校。(パントリー、子ども宅食、生活相談)	面談、訪問、電話、LINE		
32	母子家庭。子ども3人不登校。パントリー登録しているが参加困難。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、LINE		
33	瑞浪市民。母子家庭。子ども4人。母不安定。生活困窮。(パントリー、子ども宅食)	面談、訪問、電話、LINE	学習支援員	
34	中津川市民。母子家庭。子ども3人。生活困窮。(パントリー紹介)	電話		
35	中津川市民。三重県より転入。母子家庭。子ども2人。思うように働きず生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2025/2～継続
36	母子家庭。子ども不登校。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/12～継続
37	母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2025/2～継続
38	母子家庭。祖母、弟、弟夫婦と同居。生活困窮。(パントリー)	面談、訪問、LINE	市(子育て支援課)	
39	父子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/11～継続
40	DVにより中津川市へ転入。外国籍。母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、電話、LINE	市(子ども家庭課)	2024/11～継続
41	中津川市民。母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/12～継続
42	母子家庭。子ども3人。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2024/12～継続
43	母子家庭。生活困窮。(パントリー)	面談、LINE		2025/3～継続
44	母子家庭。パントリー会員。夏に恵那から中津川へ転居予定。年度途中に子どもを転校させたくない。ファミサポ利用希望。(ファミサポ説明、パントリー)	面談		
45	不登校の子どもの、教育支援室下校後の迎え、預かりの相談。(ファミサポ)	面談	市(子育て支援課)、教育支援室	2024/12～2025/3まで
46	母子家庭。パントリー会員。子ども不登校。教育支援室下校後の迎え希望。(ファミサポ、パントリー)	面談、電話、LINE	市(子育て支援課)、教育支援室	

付) フードパントリーアンケート結果

● アンケート調査の目的

このアンケート調査は今回で4回目となるが、内容をほぼ変えずに行っているため経年変化を見ることができる。過去4回のアンケートで毎回感じるのは、パントリー利用者の切実な生活困窮実態である。特に今年は物価の高騰、特に食品の高騰が利用者の生活を大きく圧迫していることが分かる。

アンケート結果の最後に記載した「自由記述」を、是非ご一読いただきたい。

● アンケート内容（無記名）

◆アンケート調査にお答えいただくのは？（分析結果は省略）
A 初めて B 2回目 C 3回目 D 4回目

◆ご家庭の家計について最も近いものに○をつけてください。

A 赤字があり借金して暮らしている
B 赤字があり貯金を取り崩している
C 赤字も黒字もなくギリギリである
D 黒字であり毎月貯金している

◆ご家族の世帯について当てはまるもの全てに○をつけてください。

A 生活保護世帯
B 市民税非課税世帯
C 就学援助制度を受けている世帯
D ひとり親世帯
E 18歳未満の子どもが1人
F 18歳未満の子どもが2人
G 18歳未満の子どもが3人以上

◆過去1年間の間に経済的な理由で以下の料金について支払いが遅れたことがありましたか？
支払いが遅れた全てのものに○をつけてください。

電話料金 電気料金 ガス料金 水道料金 給食費 家賃 税金 年金 住宅ローン
その他の債務（キャッシュカードの月々の返済等）

◆以下の支援はどの程度重要だと思いますか？
(それぞれ、A非常に重要 Bまあまあ重要 Cどちらとも言えない Dあまり重要ではない E重要ではない)

- 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
- 手当など現金の給付を受けられること
- 病気、出産、事故など事情はある時一時的に子どもを預けられること
- 病気や障害などについて専門的な支援を受けられること
- 子どものことや生活のことなど悩み事を相談できること
- 助けを求めるができる相談相手とながっていること
- ご自身の就職のための支援を受けられること
- 離婚や養育費のことなどについて専門的な支援を受けられること
- 一時的に必要となる資金が借りられること
- 民生委員児童委員など地域の人から支援が受けられること
- 同じような悩みを持った人同士で知り合えること

◆どんな専門的支援が受けられるといいですか？（自由記述）

◆ドロップスの子育てフードパントリーをどこで、どんな方法で知りましたか？
A 子育てフードパントリー便りから 置いてあった場所は？（ ）
B 市役所で紹介された C 学童保育で紹介された D 友達・知人からの紹介
E その他（ ）

◆今までに支払いやお金のこと、食糧や生活で困ったことを教えてください（自由記述）。

◆ドロップスの子育てフードパントリーを利用して良かったことはありますか？（自由記述）

◆ドロップスの学習支援をご存知ですか？（分析結果は省略）
1 知っている 2 知らなかった 3 聞いたことはあるが詳しくは知らない

● アンケート実施日

R6年12月19日（フードパントリー開催時）～R7年1月中旬

● アンケート回答者数 : 99名

●利用者の居住地域（利用者リスト分析）

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計	%	地域世帯数	世帯数比(%)
大井町	33	34	32	34	32	37	39	39	33	32	36	37	418	37.5	5,541	75.4	
長島町	21	22	21	21	17	21	24	24	23	24	25	24	267	23.9	3,990	66.9	
中津川市	11	11	11	11	8	9	8	8	9	11	13	14	124	11.1	29,690	4.2	
明智町	5	5	5	5	2	5	5	5	5	6	6	6	60	5.4	1,987	30.2	
山岡町	1	1	5	6	5	5	5	5	4	4	4	5	50	4.5	1,502	33.3	
三郷町	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	49	4.4	860	57.0	
岩村町	3	2	4	4	3	2	3	3	2	2	3	3	34	3.0	1,924	17.7	
東野	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	25	2.2	676	37.0	
瑞浪市	2	2	3	3	3	3	1	1	1			2	2	23	2.1	15,672	1.5
上矢作町	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	2	2	21	1.9	685	30.7	
笠置町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.1	424	28.3	
川辺町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.1	4,063	3.0	
武並町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.1	1,279	9.4	
土岐市	0	1	1	1		1	1	1	1				8	0.7	24,776	0.3	
串原													0	0.0	291	0.0	
飯地													0	0.0	247	0.0	
中野方													0	0.0	552	0.0	
利用者数総計	87	89	93	96	81	93	97	97	89	91	100	102	1,115				

大井、長島中心

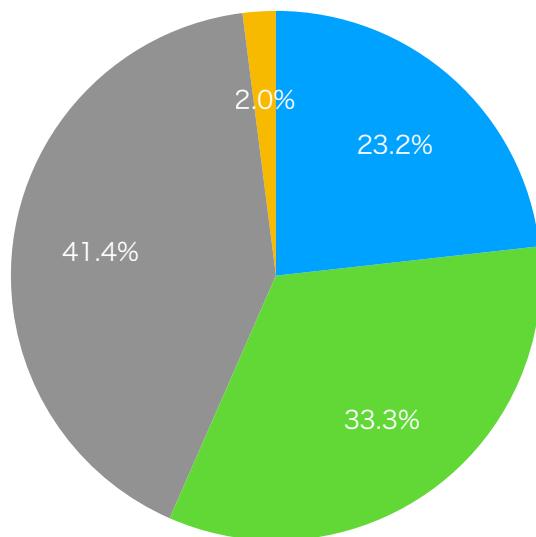
R6年度も、利用者は大井、長島中心だった。実際の件数では第3位は中津川市だったが、世帯数比を見ると当然小さい。中津川以外でも東濃の瑞浪市、土岐市、さらには川辺町の利用者もいる。生活に困窮している世帯であれば恵那市以外でも受付はするが、今後検討する必要があるかも知れない。

一方、串原、飯地、中野方には利用者はいない。対象者がいないという訳ではなく、市の中心から遠方の地域であるというハンディキャップが問題なのだろう。今後こうした遠方の地域に対する支援を如何にして展開するか、検討したい。

●利用者の経済状況

1) 利用者の経済状況

● 赤字・借金 ● 赤字・貯金取り崩し ● ギリギリ ● 黒字・毎月貯金



特に高度成長を経験した方々の中には、「フードバンチー利用者は本当に困っているのか?」という印象を持つ人が少なからず存在する。確かに、昭和の高度成長期の「貧困」は、誰が見ても貧困という状況だった記憶がある。この記憶がある世代にとって、「現代の貧困」が本当の貧困ではないと感じるのだろう。

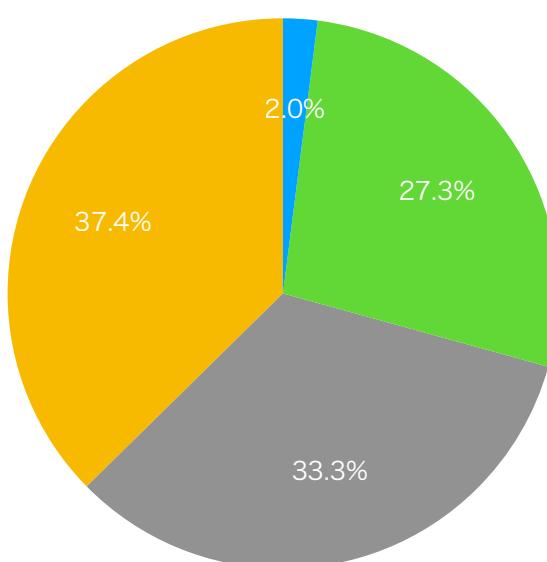
貧困とは、基本的には相対的なものである。

かつて世界の最貧地域であるヒマラヤ周辺に何度も行った私としては、物質的な貧困が相対的なものであるという確信がある。周囲全体が物質的に貧困であれば、その中に住む住民に貧困意識はない。先進国の感覚で貧困であっても、住民の多くは心豊かに暮らしている。

戦後「奇跡の回復」をなした日本で、戦後の「貧困」の記憶が残存している世代の中心が「団塊の世代」ではないだろうか。この世代が如何にして「現代の貧困」を理解するかが問題かもしれない。

2) 利用者の公的支援利用率

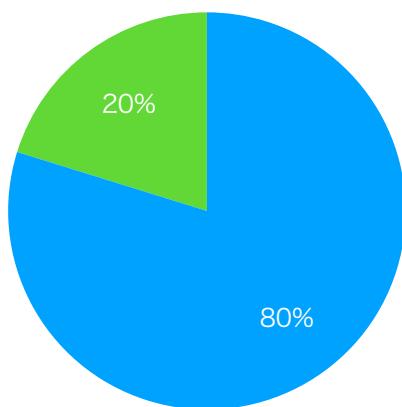
● 生活保護 ● 非課税 ● 就学援助 ● その他



R5の、公的支援を受けている世帯（住民税非課税+就学援助）は利用者の54%であった。R6はこの数値が61%と上昇している。昨今の経済状況を反映し、経済的格差は間違いない広がっているのだろう。

●利用者のひとり親世帯率

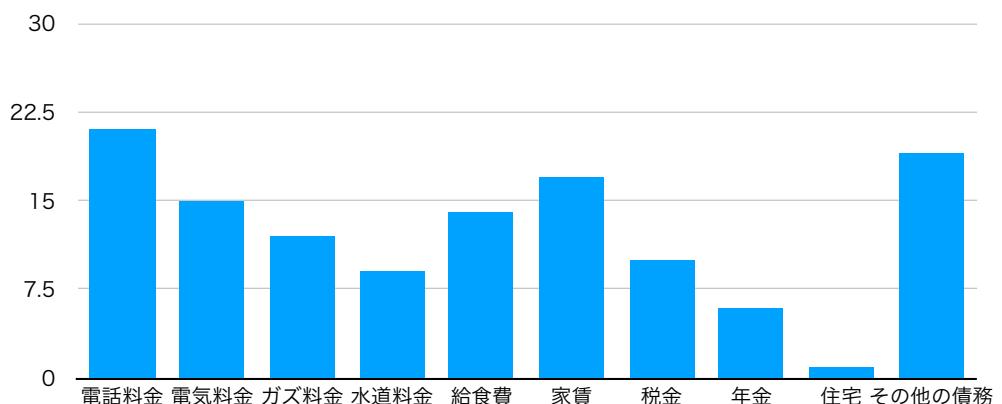
● ひとり親 ● その他



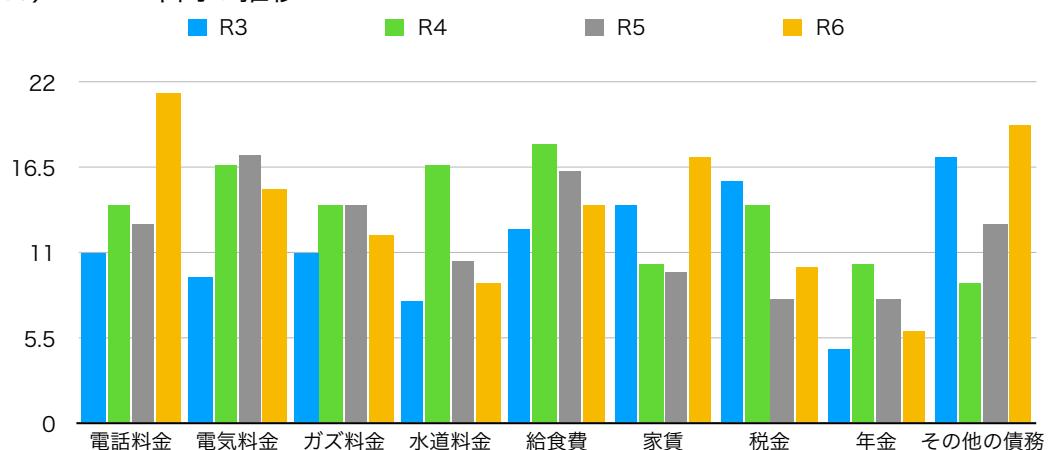
対象になる世帯は、基本的にはひとり親世帯で18歳以下の子供のある世帯である。しかし、生活に困窮する子育て世帯の場合は対象としている。このカテゴリーは外国籍の世帯、両親に障害者がいる世帯等様々である。

●利用者の公共料金未払経験率

1) 種々の公共料金未払経験率

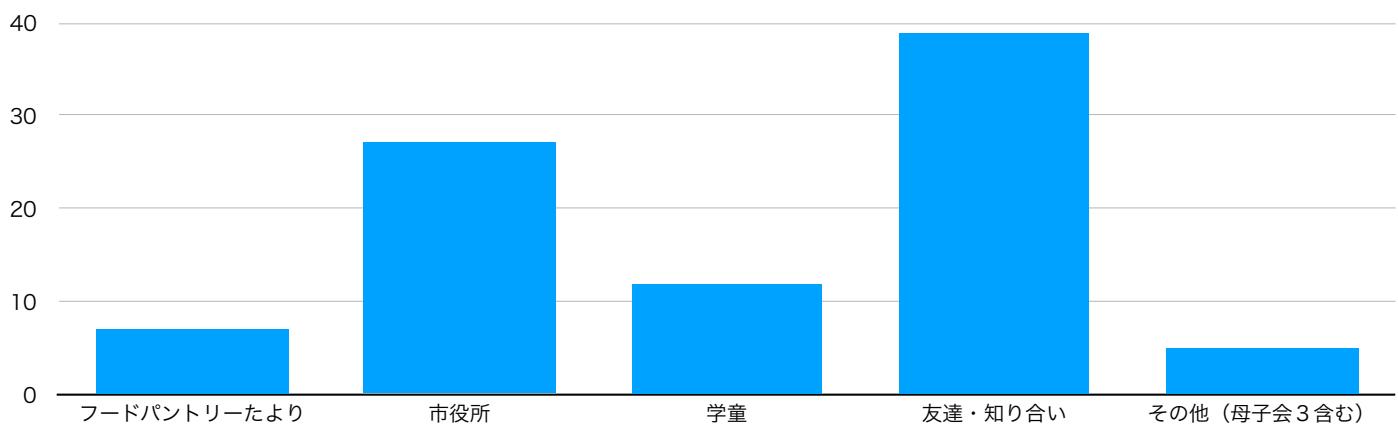


2) ここ4年間の推移



2) のチャートは、過去4年間の推移を示している。R6年度は「電話料金」、「家賃」、「その他の債務」が過去最高を示している。特に家賃の滞納は住生活の不安定要因であり、衣食住という生活の基本が確保できない世帯が相当数あることが予想できる。子育て中の世帯が、「食生活」、「住生活」という生きていく上での基本要素に問題を抱えるとすれば、重大な問題である。

● フードパントリーをどのように知ったか？



昨年とほぼ同様の結果だが、「友達・知り合い」からの情報が圧倒的に多い。参加者の多くがひとり親世帯だが、ひとり親世帯のコミュニティがあるのかもしれない。

市役所からの紹介も昨年同様多いが、学童やフードパントリーだよりから情報を収集している世帯もあり、今後も幅広い情報拡散をしていくべきだろう。困窮する世帯全体に情報を拡散する手法を常に模索している。

● どのような支援を必要と思うか？



このチャートの横軸数値は、それぞれの項目の答えに「重み付け」をして計算された数値である。具体的には、「必要」から「不必要」まで5段階の選択肢が用意され、それぞれのポイントを2,1,0,-1,-2として集計した（昨年度と同様の手法）。

現金給付が希望する支援のトップで、昨年トップだった就学にかかる経済負担軽減希望は第2位となった。民生児童委員等地域の人からの支援や就労支援は比較的低く、専門的相談支援を望む回答は第3位であった。

自由記述

原文そのもの		カテゴリー
必要な専門的支援	現在受けられています。あとはこちらの状況で判断しています。	制度
	障害児のアドバイスだったり支援。	子供
	住宅支援、車など高額なものを買う時の支援。	経済
	非課税世帯でなくとも収入が低かったら高校の助成金を受けると良い。時給が上がったため非課税でなくなるかもだが、物価が上がり生活は困難。	経済
	子供の相談事。	子供
	今みたいに食料いただける事すごく助かります。国から低所得以外の人たちにもお金の補助が欲しい。	経済
	子供の就学支援や病気について。	進学
	習い事、大学。	進学
	奨学金の制度など、相談出来ると良い。早めにわかると子供の進路を考えること安心です。	進学
	分からぬ。	
	親（自分）が病気になった時の子供の支援。	子供
	土日祝も預けられるところがあること。病気の子供（インフルなど）の給料保証（有給に限りがあるので）。	経済
	食費がかかるので食費が浮くと嬉しい。服にもお金がかかります。	経済
	離婚前にゴタゴタがあって子供たちが不安定になっているので、近くでそういったことを専門的に相談出来るところがあるといい。どこも遠方なのでなかなかしつかり相談できない。	離婚
	ひとり親が受けられる高校入試や大学入試の際の教育ローンや、受けられる制度があれば知りたい。	進学
	進学の時に必要なお金をどのように用意できるか。	進学
	子供の心理的な相談。	子供
	思いつきません。	
	子供に障害があるため活用できる制度を知りたい。	子供
	お金が必要なので、お金の面で支援が受けられると有難いです。	経済
	同居していても片親で世帯が別なら少しは手当があって欲しい。	経済
	グレーゾーンの子供との関わり方。	子供
	資格取得の支援。	就労
	県や市によって無料のところとそうでない所があるので統一してほしい。	制度
	医療、生活支援	制度
	離婚時に知っておいた方が良い情報（養育費の取り決め等）	離婚
	支援金がどのようなものがあるのかなど教えてもらえる	制度
	子供の様子や親の相談を聞いて相談に乗ってくれる支援	制度
	世帯収入が〇円になった時困った。	経済

困ったこと	毎月困っているけど何とかやりくりしています。	経済
	日持ちできる物が多いので特に困ったりはないです。	
	大学進学を希望しているが、金銭的に不安なことしかない。仕事を掛け持ちしているがそれでもギリギリです。	進学
	子供の（私立高校）学費の支払い時まとまったお金が必要なこと。家で何か壊れた時など男手が必要な時。	進学
	支払いの滞納。	経済
	電気、車の車検、子供の食事、ガス・水道、月々のカード支払い。	経済
	支払いができない時がある。	経済
	子供に手がかかることと、自分の体調不良で以前のように働けなくなり収入が減り全般的に余裕がなくなっていること。	経済
	カード支払いの遅れ。	経済

引っ越した時に支払いが多くなり、借りなければならなかっら事と子供の学費が重なったこと。	学費
物価上昇。	経済
車の維持など。	経済
子供の食事の量が多い。	経済
ガソリン・電気等生活に関する事。子供に関する出費。イベント時の出費（お年玉、xmas等）。	経済
子供が休みになると色々料金が上がりお金が回らなくなる。	経済
高校生は毎日お弁当なので大変です。光熱費が大変、特に冬は。	経済
精神的な体調不良で働けてない。	経済
支払いが足りない時に、どうやってやりくりするか困った。	経済
子供の定期券が高くて困った。	経済
毎日ギリギリ。よく半額商品を買う。	経済
養育費未払い。離婚の時にかかった費用をキャッシングで賄ったので、借金が残っている。	経済
税金が上がり支払いでいっぱいになり食費を削った。物価高もあり。	経済
給料が安定せず、少ない時に生活が苦しい。	経済
長期休み中の子供の食事。3食食べさせられなくて朝ごはんを遅く食べさせてお昼お腹が空かないようにして夕食まで食事ができない時があった。	経済
生理用品、自分が病院に行くお金で困っています。親の介護と子供の体調不良で仕事に行けなくなってる事。	経済
外食に子供が行きたいと言っても中々いけない。物価高なのに給料は変わらなく困る。	経済
物価高騰なので、購入大変。	経済
現在市営住宅に住んでおりオール電化の為、冬になると電気料金がとても上がること。高校の電車・バス代。	経済
物価高くて最低限となること。子供の楽しみを作つてあげれない。買ってあげたり出掛けれないし！	経済
物価上昇のため支出が増えた。	経済
キャッシングカードや通帳からの引き落としができなかった。	経済
支払いが遅れたこと。	経済
子供たちの食べる量は増えるのに物価高が続いていること。	経済
元妻からの約束金が守られない（公正証書あり）。	経済
養育費が一度も支払われないので困っている。裁判で判決が出たのに支払われないので、次の手段をしようにも強制執行の費用がかかり、出来ない。	経済
お給料に変動があるため月によってばらつきがあり支払いに頭を抱えることあり。	経済
まとめた出費が必要な際の対応（車検など）。	経済
支払いができない時に社長とかに借りたり、食べれない時は子供のみ食べさせて生活した。	経済
物価高による食品等に関わる出費	経済
物価高	経済
食料がなかつたり、給料がまともに入らず生活ができないことがあった。オムツもミルクも買えなかった。	経済
お米、電話料金、もろもろ いろいろ	経済
支払いは生活費を優先して できない月が多々あった	経済
支払うものが多いので（子供がたくさんいるため）食費等を切り詰めなくてはいけなく大変。	経済
子供と離れたくない。病気になった時タクシーを使っていくと、医療費はタダでもお金がかかってしまう。	経済
お金の使い過ぎをした。ネットで買いすぎた（息子がネットで7,000円のお米を頼んだ。ゲンキーなら2倍買えると話し、今後は母親がチェックすることとした）。	経済
息子が熱が出て休んでいる時も留守番させて仕事に行つたこと。	健康
私に何かあった時のための保険料でも入ってないと死んだ時子供が困る。	子供
子供の体調不良が続き、仕事に長期間行けなくて生活に響いたこと。	子供
習い事させたがれない。	子供
子供を出産してからの1年間、無職の状態だったので1年間のやりくりに苦労しました。1年後職についてからは安定しました。	就労
夫が仕事を辞めることが多く、子供が3人もいたので毎日不安でカリカリした生活を送つてノイローゼになったことがあります。	就労
二人の子供が中高の同時入学だった為、思った以上にお金がかかったこと。	進学
大学就学の支払いに困った。	進学
進学の時に必要なお金をどのように用意できるか。	進学
専門学校の入学金。	進学
子供の塾費用の捻出。アルバイト（ダブルワーク）を始めたことにより、手当が減ってしまった。	進学
学費、部費。	進学
子供が進学する時の入学準備金、受験費用、制服などの購入や入学金が一括で大きい金額で困った。	進学

良かったこと	食料品が入り数日分の食費が浮くので、とても助かっています。	家計
(抜粋)	普段買えないものがあったりするのでありがとうございます。	内容
	長期休みの時のおやつがめちゃめちゃありがたかった。長い目で食費が負担が軽くなった。	内容
	いつも助けていただき有難うございます。レシピも付いていて分かりやすいです。	内容
	毎月調味料や食料をいただけて本当に助かっています。明智まで届けていただき、いつも有難うございます。	内容
	お米とても助かっています。	米
	食費が浮くのでとても助かっています。	家計
	食料をいただけます。	家計
	食料がとても助かっています。	家計
	食費が助かっている。	家計
	米が高いので、毎月少しでももらい助かっています。	米
	食料はとても助かりますし、防災用のものもなかなか買えないのをいただけたと安心です。メニューに合わせて材料を揃えていただけて嬉しいです。	内容
	いつも助かっています。	家計
	季節のフルーツは特にありがたかったです。お米も助かっています。	米
	野菜やお米ももらえるので助かる。	米
	お米がとても助かる。牛丼を子供がとても喜ぶ。	米
	お菓子がもらえる。	内容
	食料が入ることが大変ありがとうございます。	家計
	とても助かっています。お米があとでもありがとうございます。自分ではあまり買えない物がありとても嬉しいです。	米
	毎月の食材とても感謝しています。すごく助かってます。いつも有難うございます。	家計
	子供たちが嬉しそうに今回は何だったかな？？と楽しみにしています。働けない時や子供の長期休み時にありがとうございます。	家計
	食料をいただけるのはとてもありがとうございます。暖かさを感じることができます。いつも感謝です。有難うございます。	スタッフ
	食材、すごく助かってます。みなさん優しいです。	スタッフ
	食費がかかる時なので助かります。	家計
	食事の際の食材など助かっています。	内容
	助かってます。	家計
	お金などもらえるので助かります。	家計
	思った以上に良い物がいただけて助かりました。	内容
	食費が軽減されたこと。	家計
	少しでも食料品の足しになる。助かります。	家計
	フードの配布、お米。	米
	米などすごく助かった。野菜も高いので助かる。果物もなかなか買えないので嬉しい。	米
	食費が軽減されいつも助かっています。月に1回食事もいただけて息抜きできるのでありがとうございます。	家計
	手作りの野菜がいただけて体に良いのでありがとうございます。ひとり親の知り合いに会える機会になっていること。	内容
	食べ盛りの子供にたくさん食べさせることができ感謝しています！！有難う。	家計
	よかったです。パントリーのおかげでうちの子供たちはお腹いっぱいご飯が食べれています。	家計
	畠体験などの参加ができます！中々経験できないのでありがとうございます。お米が買えなくなってパントリーでもらえて助かりました。	米
	いつも有難うございます。	スタッフ
	家計が助かる。子供が牛丼を楽しみにしている。	家計
	月1回でも大変助かっています。	家計
	生活維持の支えとなり、本当に助かります。	家計
	助かってます。	家計
	食料には本当にありがとうございます。特にお米・フルーツ嬉しいです。子供達も喜んでいます。	米
	毎月とても助かっています。	家計
	苦しい時食料を頂けて助かった。日常生活で使うものも有難い。	家計
	食料品がとても助かっています。	内容
	もらえるものが少なくて有難い。食べ物がいただけるところです。	内容
	スタッフの笑顔。	スタッフ

物価高の影響で食料品が値上がりしているので助かる。	家計
食事は必ずすることなので、食べ物をいただけて有難いです。	内容
毎月色々な物がいただけるので食費が浮いて助かってます。	家計
皆様とても親身になって快く対応してくれてすごく有難いです。	スタッフ
毎月お米や食料、どれも助かっています。	米
ほっとします。	スタッフ
お米が特に嬉しい。	米
使ったことのないもの、自分では買わないものをいただけて嬉しかった。	内容
いつも食料をいただけてホント助かっています。有難うございます。	家計
いろいろな物がいただけて感謝しかありません。	内容
子供たちが毎月牛丼を楽しみにしている。少しでもご飯をいっぱい食べさせてあげれる。	内容
毎月本当に助かっています。スタッフの方々も皆さん温かく感謝します。	スタッフ
食費の面でとても助かっています。有難うございます。	家計
些細なことでも気軽に相談でき、同じ利用者さんと話ができ、心が軽くなって元気がもらえた。	スタッフ
お米の高騰などでだいぶ金銭的に寂しくなった時期に、支援がとても助かりました。感謝しかないです。	米
自分では中々買えないものも入っていて楽しみの一つになっています。いつも有難うございます。	内容
食費が助かり大変有難いです。普段買えないものが頂けて嬉しいです。	家計
食料の助けになって有難い。	家計
食料品がとても助かりました。	内容
こんなに優しい支援があることを知って心強かった。	スタッフ
皆さんの言葉に助けられています。	スタッフ
ありがとうございます。	スタッフ
お米が毎日食べられること。	米
赤ちゃんへの支援があったおかげですごく助かりました。食料やお菓子もいただけて助かりました。	内容
特にない	
全体的にいいことしかないです！！	スタッフ
食料が足りない時に助かった。	家計
めちゃ食べるのでとても助かった。	家計

特定非営利活動法人みんなで子育てドロップス

〒509-7203 岐阜県恵那市長島町正家613-10 木point内ログハウス

連絡先:TEL: 0573-22-9710

業務時間: 9:00~17:00(土日祝日、年末年始は除く)

ホームページ: <https://drops-ena.org>

《 アクセス 》

